

ミヤフォス[®]E

Miya-Phos E

健康で元気に育つために
プロバイオティクス

酪酸菌（宮入菌[®]）

× Collaboration!

飼料の栄養成分の有効利用に
リンの利用を助ける酵素

ハイブリッド6-フィターゼ

飼料添加物（A飼料）	20kg
飼料添加物の名称	ミヤフォスE
有効成分名及び含量（1g中）	クロストリジウム ブチリカム（その1）：10 ⁷ 個 フィターゼ：700フィチン酸分解力単位（最大の酵素活性を示すpH値：3.5～5.5）
賦形物質等の名称	米ぬか油かす、ゼオライト、炭酸カルシウム、ブドウ糖
用いることができる飼料の種類及び量	鶏・豚及びびうずらの飼料に0.05～0.5%添加して下さい。
保存上の注意事項	遮光した密閉容器に保存して下さい。

ミヤフォスEのフィターゼは、BASF社のnatuphos[®]E（ナツフォスE）10000Gが使用されています。
natuphosはBASF SEの登録商標です。

酪酸菌(宮入菌)

生きたまま大腸に届き、酪酸を産生 腸内環境を改善します

プロバイオティクスである酪酸菌(宮入菌: *Clostridium butyricum* MIYAIRI)の3つの特長

1. 芽胞形成菌のため、酸や熱に対して安定です
2. 嫌気性菌のため、生きたまま大腸まで届いて増殖します
3. 腸管上皮細胞のエネルギー源になる酪酸を産生します

「プロバイオティクス」は、腸内細菌叢のバランスを調節し、宿主に有益な影響を与える微生物の総称です。家畜の腸内細菌叢のバランスは、宿主の増体重や飼料要求率に密接に関連しています。

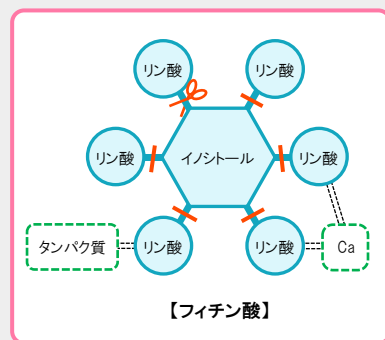


フィターゼ(ナツフォスE)

ミヤフォスEのフィターゼの特長

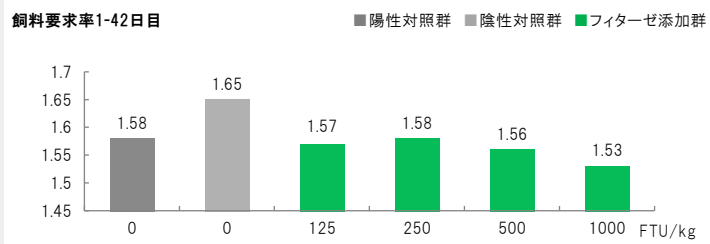
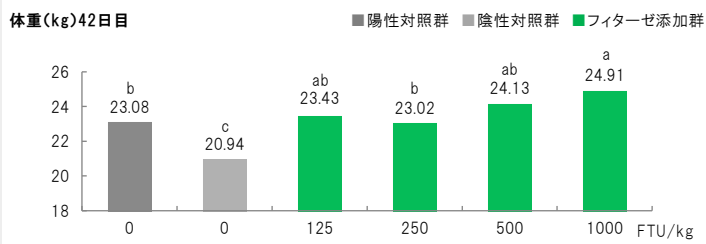
1. フィターゼは、農林水産大臣が指定する飼料添加物の一種です。
2. ミヤフォスEのフィターゼには「ナツフォスE」が使われています。ナツフォスEは、BASF社のおよそ25年の研究成果で生まれた商品です。
3. フィチン酸中のリンや、タンパク質、カルシウムなどの利用能を高めることで、家畜の健康な成長を促進します。

【フィチン酸とフィターゼ】フィチン酸は、イノシトールにリン酸が6分子結合した有機リン酸化合物です。カルシウムなどのミネラルやタンパク質と複合体を形成しています。フィターゼは、フィチン酸を加水分解してリン酸を遊離させ、栄養素として利用できるようにします。



離乳後子豚の飼養成績改善作用

離乳後子豚の体重と飼料要求率を検討した野外試験では、陰性対照群と比較し全てのフィターゼ添加群において、統計学的有意な体重増加が認められました(p<0.05)。また飼料要求率も改善傾向がみられました。

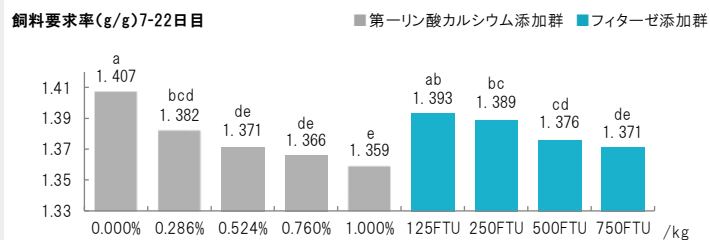
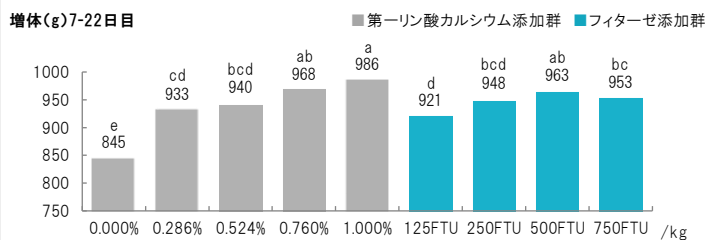


供試動物	(デュロックxランドレース)xビエトレン 雌雄混合 26日齢 144頭
飼養体系	1-21日目:プレスターター 22-42日目:スタータートウモロコシ/大豆ベース
試験群 計6群(1群24頭) ペン当たり3頭/8反復	陽性対照群=プレスターター:第二リン酸カルシウム 11.4% スターター:第二リン酸カルシウム 12.9%添加 陰性対照群=プレスターター:第二リン酸カルシウム 0.3% スターター:第二リン酸カルシウム 2.9%添加
	フィターゼ添加群=125、250、500、1000(FTU/kg) プレスターター:第二リン酸カルシウム 0.3% スターター:第二リン酸カルシウム 2.9%添加
検定	Tukey's 検定

[BASF社内資料より]

ブロイラーの飼養成績改善作用

ブロイラーの増体量と飼料要求率を検討した野外試験では、陰性対照群と比較し第一リン酸カルシウム及びフィターゼ添加群において、濃度依存的にそれぞれ有意に改善しました(p<0.0001)。500FTU/kgのフィターゼを添加した時、増体重では1.68g/kgの無機リンを添加した時と同等の結果が得られました。



供試動物	ブロイラー(1,575羽 ROSS 308 雄 1-22日齢)
飼養体系	0日から6日までトウモロコシ/大豆ベースの飼料を給与 7日目以降を各試験群(175羽/試験群、9試験群、7反復)に分け、23日目まで試験飼料を給与。試験期間中の水および飼料は自由摂取とした。
試験群 計63群(1群25羽)	対照群=第一リン酸カルシウム 0.000%、0.286%、0.524%、0.760%、1.000%
	フィターゼ添加群=125、250、500、750(FTU/kg)
検定	Duncanの多重範囲検定

[BASF社内資料より]